

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年 10月20日(金) 12:50~14:50
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室
開催にあたり、委員による多工祭(文化祭)の見学を実施した
- 4 参加者

会 長	加藤 賀裕	多治見市青年会議所理事長
副 会 長	加藤 隆浩	前育友会長
委 員	山本 博子	Mama's Café 理事長
	水野 靖子	育友会副会長
	加藤 亨	明和工業株式会社 管理部部長 (欠席)
	山本 和彦	本校同窓会 役員
	齋藤 哲弥	地域代表
	村松 敦子	養正公民館 館長 (欠席)

学 校 側

中田 卓生	校 長
田口 稔	教 頭
永瀬 雅彦	事務長
青山 知喜	教務主任
加藤 龍輔	生徒指導主事
加藤 嘉憲	進路指導主事
和田 正行	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 前期までの学校の状況について

- ①学校の現状について
- ②教 務
- ③生徒指導
- ④進路指導
- ⑤工 業

(2) 学校評価アンケートの結果について

(3) 本校への意見

意見1：多工祭(文化祭)のオープニングを見て、生徒の主体性が表れた企画であり態度は大人だと感じた。また、先生と生徒が互いに尊重しあい深い信頼関係があると感じた。

意見2：先生方の指導のおかげで、生徒は立ち止まって挨拶するなど礼儀正しい姿を見ることができた。

意見3：若い者たちの心の弱さを感じている。社会に出れば良いこともあるが厳しいこともあることもある。高校三年間をしっかりと取り組んで忍耐力や根性を養い、継続的に会社を続けられるような力をつけてほしい。

意見4：コロナ過で自殺者が二番目に多かったのは高校生である。高校において教育相談を中心に生徒に寄り添い、辛い気持ちを抱えながらも上手く生きることも必要であることにも力を入れてほしい。

意見5：予測しづらい社会でも、生徒が卒業した後でも自立した生活を送られるように、基礎知識は必要である。また卒業後も道に迷うこともあるため、卒業後も相談できる学校であってほしい。

意見6：多治見にも様々な職業がある。地元の企業に目が向けられるように進路指導をさらに進めてほしい。地域で育ったものが地域のために働き続けるとよい。

意見7：教育現場の働き方改革は難しいが、先生方がいきいきと子供たちと向き合えるように健康と家庭を大切にしてほしい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、会議前に多工祭（文化祭）のオープニングを見学し、生徒の主体性や教員と生徒の良好な関係についての感想があった。また、前期までの学校の様子や学校評価アンケートの説明を行い、委員から理解が得られた。会議では生徒の心の弱さについての意見が出され、卒業後、自立するための教育を本校に期待されていると改めて感じた。今後も地域の力を借りながら学校を運営する必要がある。